

③大学スポーツ資源を活用した地域振興モデル創出支援事業 企画提案書（事業概要資料）

<p>実施計画名</p>	<p>「スポーツに満ちた明るく豊かな新潟市の実現」に向けたスポーツムーブメントの醸成 ～新潟医療福祉大学のスポーツ資源を活用し「スポ柳都にいがたプラン」の実現へ～</p>
<p>事業概要</p>	<p>新潟医療福祉大学のスポーツ資源を活かし、自治体・地元スポーツチーム・医療機関と連携した事業を展開し、幅広い世代において運動・スポーツを通じた健康づくりを推進し、運動・スポーツ習慣の確立を目指す。</p> <p>①【出張型】講義・スポーツ教室の開催 ⇒スポーツを「する・観る・支える」ことを学び興味を持ってもらうことで、子どもの運動不足やスポーツ離れなどの課題改善に寄与する</p> <p>②【来場型】スポーツ遊びイベントの開催 ⇒本学のスポーツ施設設備を活用したスポーツ遊び体験、運動能力・身体測定を通じて自身の身体を知り、スポーツを楽しみながら実践することで、健康意識の向上、運動習慣の増加、スポーツ環境に対する満足度向上に寄与する</p>

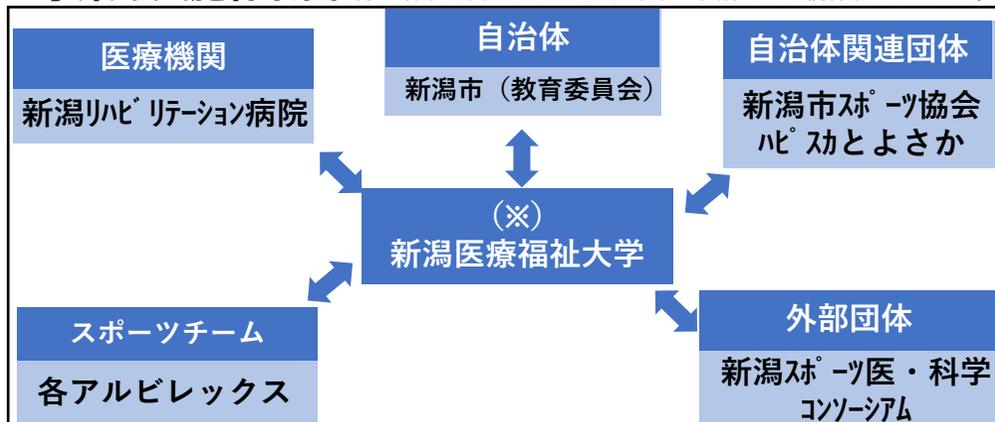
■対象地域が抱える課題

<p>対象地域</p>	<p>新潟市</p>
<p>※新潟市スポーツ振興基本計画『第3次「スポ柳都にいがた」プラン』より</p> <div style="display: flex; justify-content: space-between;"> <div data-bbox="41 664 642 921"> <p>・市民（成人）のスポーツ機会が全国平均以下 ⇒週1日以上スポーツをする市民（成人）の割合が低い （R3 新潟市：52.2% 国全体：56.4%）</p> <p>・子どもの運動不足、スポーツ離れ ⇒デジタル化の進展によるスクリーンタイムの増加、少子化によるチームスポーツ実施機会の減少。</p> <p>・スポーツ環境への満足度が低い ⇒「満足している」と感じている割合が全体の4割程度。スポーツに親しめる環境が少ないことが大きな課題。</p> </div> <div data-bbox="714 642 994 928">  </div> </div>	

■具体的なプログラム・活用する大学スポーツ資源

<p>① 外部組織・団体との連携、知見の共有（2024年7月～8月） 各々で保有している「環境」「人材」「ノウハウ」を一元化し、新潟市の課題に対して効果的な取り組みを検討</p>
<p>② 【出張型】講義・スポーツ教室 日時：2024年9月～12月中旬（10回） 対象者：新潟市の幼児・小中学生 目的：スポーツを「する・観る・支える」ことを学ぶ</p>
<p>③ 【来場型】スポーツイベント 日時：2024年10月中旬（1回） 対象者：新潟市の幼児・小中学生・保護者 目的：スポーツ通じた遊び体験、運動能力・身体測定を通じて自身の身体を知り、スポーツを楽しみながら実践する</p>
<p>④ アンケート調査 出張型・来場型のイベント参加者へアンケートを実施し、スポーツに対する意識調査や満足度調査を展開し本事業の効果測定を行う</p>
<p>【活用する大学スポーツ資源】</p> <ul style="list-style-type: none"> 新潟医療福祉大学 アスレティックデパートメント 新潟医療福祉大学 強化指定クラブ 学生・スタッフ 新潟医療福祉大学 健康スポーツ学科 学生・教員 新潟医療福祉大学 アスリートサポート研究センター 新潟医療福祉大学 各スポーツ施設、検査機器 NSGグループのネットワーク（スポーツチーム・医療機関）

■事業の実施体制図（学内体制に留まらず、地域の組織・団体との連携体制も示すこと）



■期待される事業結果・効果

<p>スポーツを「する・観る・支える」ことを学び、スポーツ関係人口の拡大に寄与する。本学の学生にはスポーツを「つくる・つなげる・誰もがアクセスできる」という新たな視点を養い、スポーツ関係人口拡大に寄与する。</p>	
<p>〈短期的効果〉</p> <p>①参加者の満足度・運動意識の向上</p> <p style="text-align: center;">↓</p> <p>②スポーツ交流人口の増加</p>	<p>〈長期的効果〉</p> <p>①対象地域の子ども・成人のスポーツ実施率の向上</p> <p>②スポーツ環境への満足度向上に寄与</p> <p>③対象地域の健康意識の向上、健康寿命の延伸に寄与</p>